



よいことの
ために
手を取りあおう

会報

WEEKLY REPORT

2025-26 R.I.会長

フランチェスコ・アレツツォ

第2500地区第6分区帯広北ロータリークラブ

会長／荒木 樹

副会長／一宮 綾子

幹事／齊藤 政樹

[四つのテスト] 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第3174回 例会報告

2025.8.8

●例会日／金曜日〈12:30～13:30〉

●例会場／ホテル日航ノースランド帯広

●事務局／帯広市西3条南9丁目23 帯広経済センタービル東館3F

TEL 0155-25-7347

■点 鐘

荒木 樹 会長

■開会宣言

及川 悟 SAA

■ロータリーソング（奉仕の理想）

■ゲスト紹介

RI第5420地区

ウエスト・ジョーダンロータリークラブ

永田 雄治 様

RI第2500地区 パストガバナー

鶴見誠一郎 様

■会長挨拶

荒木 樹 会長



・RI第2500地区 パストガバナーの鶴見誠一郎様、RI第5420地区ウエスト・ジョーダンロータリークラブの永田雄治の歓迎をした。

・帯広北ロータリークラブと芽室ロータリークラブの両クラブの友情を深めることを目的とした合同夜間例会である。

・ポリオ根絶活動の最前線についての講演をメインプログラムとし、ロータリーとポリオの歴史を振り返り。

・ポリオプラスプログラムは1985年開始、当時150カ国以上で流行→2006年には4カ国に減少。最後の1%根絶に向けて粘り強い活動が続いている。

■会務報告

斎藤 政樹 幹事



・8月15日（金）：帯広北ロータリークラブ例会休会

・8月19日（火）：芽室ロータリークラブ ガバナー補佐公式訪問例会（芽室ロード、18:30～）

・8月22日（金）：帯広北ロータリークラブ ガバナー補佐公式訪問例会（12:30～）

・8月29日（金）：帯広北ロータリークラブ例会休会

・9月20日（土）：芽室ロータリークラブ杯争奪少年野球大会（9月6日から変更）

・青少年プログラム報告

（阿部青少年プログラム委員長 代読・斎藤幹事）

・2025帯広大谷高等学校インターアクトクラブ関東研修（8月1日～5日）

○ 女子生徒12名、顧問1名、帯広北ロータリークラブメンバー5～7名参加

○ 横浜・湘南学園中高との交流、JICA横浜で海外移住資料館研修

○ 横浜西風高等学校との合同研修、安田学園で年次大会参加

○ 各校活動計画発表、難病の子どもたちと家族への夢をテーマに記念講演・ワークショップ

○ バナー交換（10枚）、懇親会で展示予定

・第2580地区パストガバナー島村氏が10月3日に来訪予定

■ゲスト挨拶



・RIで3カ年計画がスタート、会員減少対策・目標設定を重視

・会員増強だけでなく、辞めない仕組み作りが重要

・ポリオ活動の現場体験（パキスタンでの活動報告）

○ 永田氏は現地活動に精通、現地での顔が利く存在

○ 今後もパキスタンでの活動を継続予定

■ニコニコボックスの発表

一宮 綾子 副会長



阿部 直之 会員 荒木 樹 会員

斎藤 政樹 会員 鶴見 誠一郎 様

永田 雄治 様



■プログラム



RI第5420地区

ウエスト・ジョーダンロータリークラブ

永田 雄治 様

・プロフィール・経歴

- ・1965年生まれ、旅行業・リサイクル業経営
- ・埼玉県サツでロータリークラブ設立メンバー
- ・東日本大震災後、被災地支援活動に従事
- ・アメリカ・ユタ州ウエストジョーダンロータリークラブ所属（年会費200ドル、会員制度4種）
- ・日本とアメリカのクラブ運営の違い（事務所・事務員の有無、分担金の仕組み）

・ポリオ活動の現場

- ・インドでのワクチン投与活動（2012年～2020年）、インドは2014年に根絶
- ・パキスタン・アフガニスタンが現在の主な活動地域
- ・パキスタン現地活動：警察車両による警護、電車・バス・駅・個別訪問でワクチン投与
 - 年間100万人の子どもにワクチン投与（バスストップのみで）
 - ワーカーは月給2万円、年間20人以上が殺害される危険な現場
 - ワクチン費用は全体の9%、大半は人件費・搬送費
 - データ上は減少傾向だが、危険地帯での活動困難により実態把握が難しい
 - アフガニスタンではタリバンの強制力でワクチン投与が進み、根絶が先行する可能性
 - 親の拒否反応（ワクチンへの不信）対策としてチラシ配布を提案中

・ポリオ根絶の意義・日本の現状

- ・日本でもポリオワクチン接種に年間137億円

（全国）、帯広市では1,776万円の費用

- ・費用は市の税金から支出
- ・根絶により他の疾病対策に資金を回せる
- ・パンデミック対策の重要性、周期的な感染症リスクの高まり

・国際ロータリーの最新事情

- ・RI会長交代（マリオ→フランチェスコ）、組織内混乱
- ・次期会長（ユン氏）の健康問題による不透明さ
- ・新クラブ申請の遅延、会長代理未定
- ・ビル・ゲイツ財団との資金協力（ロータリーが\$5000万出せばゲイツ財団が\$1億出す仕組み）
- ・ノーベル平和賞獲得を目指す動き

■懇親会



・両クラブの合同例会・懇親会開催

・乾杯挨拶：芽室ロータリークラブ

早苗 豊 会長

- ・次合同例会は芽室ロータリークラブが帯広北ロータリークラブをおもてなし予定であることと帯広北ロータリークラブと鶴見様・永田様への感謝を述べた。

・閉会挨拶：芽室ロータリークラブ

田島 直人 副会長



- ・帯広北ロータリークラブと鶴見様・永田様への感謝と芽室ロータリーの会員数減少（2015-16年度33名→現在20名）と会員増強に向けた取り組み（鈴木幹事、金井会員が担当）会員の定着率向上が課題であると述べた。



■次週のプログラム予定

「休 会」

■閉会宣言

及川 悟 SAA

■点鐘

荒木 樹 会長

例会案内

〈月曜日〉広尾RC:日高信金広尾支店

帯広南RC:北海道ホテル

〈火曜日〉芽室RC:めむろーどセミナー

帯広東RC:ホテル日航ノースランド

〈水曜日〉帯広RC:ホテル日航ノースランド

上士幌RC:川村福祉会館

音更RC:ハピオ木野

〈木曜日〉足寄RC:足寄銀河ホール21

清水RC:清水町中央公民館

帯広西RC:北海道ホテル

■出席報告/渡辺 紘生 出席委員長

会員数	計算に用いる 会 員 数	ホームクラブ 出 席 数	メイクアップ	欠 席	出席率
58					